

(様式第7号)

令和2年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市総合文化会館、舞鶴東コミュニティセンター		
指定管理者	公益財団法人舞鶴市文化事業団		
設置目的	市民の文化の向上と福祉の増進を図るため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日
所管課	市民文化環境部文化スポーツ室文化振興課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	72,059	23,130			
利用料金(円)	11,203,374	5,480,433			
指定管理料(円)	27,375,000	33,458,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
総合文化会館・東コミュニティセンター利用者数	100,000人	100,000人	23,130人	23%
総合文化会館・大ホール稼働率(年)	40.0%	40.0%	20.5%	51%
東コミュニティセンター 小ホール稼働率(年)	55.0%	55.0%	25.4%	46%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	5,480,433	人件費	41,872,993
指定管理料	33,458,000	維持管理費	16,402,207
事業収入	3,472,095	事業費	25,956,273
その他	25,884,574	その他	2,015,412
合計	68,295,102	合計	86,246,885
差額			△17,951,783

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	新型コロナウイルス感染症拡大防止による利用中止が109件、また、自主事業の翌年度への延期・中止が相次ぎ、総合文化会館、東コミュニティセンターの2施設共、利用者数、稼働率ともに感染症対策のため本年も目標値には達することが出来ていない。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	芸術鑑賞に限らず、多種多様なアウトリーチ事業および教育プログラムを実施するなど、幅広い層への文化芸術発信に努めている。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	アートデリバリーほか、多種多様な事業は展開されている。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	前述の通り、一部事業は感染症対策のため延期もしくは中止の措置が取られた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	△	常に利用者のニーズに対応するよう努められていたが、昨年度と異なり、年間通してすべての期間でコロナ禍の影響を受けていたため、利用者・利用率の増加は達成できていない。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	受付窓口や、電話応対等、迅速丁寧な対応に努めている。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	施設利用者、来館者へのアンケートを行い、利用者ニーズの把握に努め、サービス向上や事業運営に活用している。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	常に丁寧な対応に努めているが、苦情やトラブルの案件について、内容や対応記録を残されたい。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	LED電球への交換などで光熱水費の節減に努めている。また、事業実施にあたって、外部助成金を事業費に活用して経費削減を図れている。また、コロナ禍による施設利用の減少が著しいため、

		夜間管理業務、清掃業務、舞台技術者派遣業務の委託料を一部見直している。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	物品購入は、見積り合せや通信販売、一括購入により安価に購入するように努めている。
収入増加のための取組が行われたか	○	WEB オンラインチケット購入サービスの運用等により、チケットの販売促進に努め、その成果が出ている。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	△	正規職員のみでの構成のため、月の勤務日数が決められており、施設利用の予定が無い場合でも必要以上の人員が配置されるケースが発生する。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	職員ミーティングを実施し、施設貸与や事業開催における問題点を確認し、利用者サービスや今後の事業展開に結びつくよう努めている。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例や規則の厳守に努めている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
情報の公開が適切に行われたか	○	ホームページの更新やSNSを活用し、積極的な情報発信が行われている。 利用者が使いやすいよう、さらなる改良を期待したい。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に行われている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	必要な法定点検、保守点検は適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	年2回、火災・地震を想定した防災訓練が実施されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適切に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上		来館者アンケートをおこない、利用者の声の把握に努めているため、今後はアンケートの結果を反映したさらなる接遇の向上が期待できる。 コロナ禍にあっても、ホームページの更新やSNSの活用を行い、昨年度の「更なる文化芸術の振興及び文化情報の収集・発信」という要請に応えている点が評価できる。 感染症対策の一環として、大・小ホールの利用料金を半額にする・WEB オンラインチケット購入サービスを使用する等、利用者の安心や利便を図っていると言える。
経費削減		事業実施における助成金の活用をおこなっている。また、コロナ禍における利用者減少に対応して省エネ対策がなされている点は昨年度の評価表の要請に応えているといえる。 物品購入は見積もり合わせやWEB通信販売、一括購入などにより安価に購入するよう努められている。
施設の維持・管理		特殊設備である舞台機構や舞台照明、音響設備の等の舞台設備については、担当職員が動作点検を実施するとともに、専門事業者にて定期保守を委託している。また、東コミュニティセンターが準拠避難所に指定されており、災害発生時に対応できるように努めている。 新型コロナウイルス感染症対策として、検温機器、アルコール消毒液の設置、感染拡大防止の周知に努めている。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	2.66点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5: 良い、4: やや良い、3: 普通、2: やや悪い、1: 悪い
総評	赤字の収支となっている。 新型コロナウイルスによるイベント中止の影響が大きかった。 舞鶴市の文化事業の発信地として、直営後も継続運営してほしい。	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	年度	年度	年度	平均
2.66点				2.66点